



HPはこちら

2024 年度年末手当に関する申し入れ 第3回団体交渉で回答が示される！

《会社回答に対する組合側の主張》

- 経営側の認識だけを押しかけている回答としか思えない
- 本来、年末手当は 2.8 ヶ月であるということなのか
- 社員の奮闘がわずか 0.1 ヶ月分なのか
- 運輸収入が対計画に対し 99.6%であり順調だ。ネガティブ要素ではない
- 年末手当における人件費総額は、対前年度比+40 億円であり、営業利益対前年比+409 億円の 1 割にも満たない
- コロナ前と比較して社員一人平均の年収はわずか 13 万円の増でしかない
- 営業収益は J R 発足 38 年で 6 番目にも関わらず、2.9 ヶ月の回答は 30 番目の支給月数であり、あまりにも低額である

《経営側の主張》

- 社員の尽力はしっかりと見て判断した回答である
- 2.8 ヶ月にも社員の努力は入っているが、生活実感や構造改革に対する尽力に対し、メッセージ性も込めた中で特に 0.1 ヶ月を加算する
- 「もう一段の増収」に向けて努力が必要だ
- 経営状況を踏まえて最大限判断した。運輸収入は当社の収入の柱であり、コロナ前と比較すると 94%の水準である。運輸収入はコロナ前に戻らない前提の中で、戻していくことが大事である
- 経営状況や業績を踏まえて、これまでの構造改革の進展と成果および物価上昇等の社会情勢の変化に伴う生活実感を受け止めたうえで、総合的に勘案した

会社回答に納得できますか！？